



**IBARAKI TOYOPET  
RACING TEAM**

**GR86/BRZ Race  
PROFESSIONAL Series**

**足回りのトラブルに苦しみながらも、ベストを尽くした平木湧也  
試練の後方グリッドからのスタートも、しっかり順位を上げて 23 位完走**

**SUGO** (宮城県)

GR86/BRZ Race PROFESSIONAL Series 第8戦

2017年9月30日～10月1日 スポーツランド SUGO

晴れ 13周 (32台出走)

予選 27番手 / 決勝 23位

ドライバー：平木湧也

チーフメカニック：高橋 雄大 (つくば西大橋店)

メカニック：川原場 英春 (石岡東大橋店)

メカニック：倉持 秀成 (守谷松波店)



スポーツランド SUGO を舞台に、GR86/BRZ レース プロフェッショナルシリーズの第8戦が9月30日～10月1日に開催された。茨城トヨペットレーシングチームは、今回も平木湧也選手を要して挑む。

1週間前に岡山国際サーキットで行われたN1-86による2H耐久に、松永雅博総合ディレクター、そして弟の平木玲次選手とともに出場して優勝。同じ86ではあっても、ナンバー付きのGR86/BRZレース車両とは異なり、ナンバーなしのN1車両で、スリックタイヤを装着。本格的なレーシングカーで長丁場を戦ったことで、多くの得難い経験、学習ができた平木選手だけに、今回はそれを存分に活かしてくれることが期待された。

このレースウィークの走り始めは「ついブレーキングで攻め過ぎてしまった」と、感覚の切り替えに戸惑っていた平木選手ながら、徐々に修正していくことに。だが、その過程で、いくつかの問題点が明らかになる。平木選手曰く、「真っ直ぐ走らない」のはタイヤかすを不用意に拾い過ぎたためだと判明するも、「フルブレーキング時に左側に流れる」のは深刻な問題。ブレーキ、ダンパー、車高にいたるまで、ありとあらゆる対策が講じられるも、根本の解決には達せず。本来ならば、金曜日の練習走行3セッションはセッティングの最終的な詰め、アタックシミュレーションが行われるはずが、ほとんどできずに終始してしまう。



そのため、タイム計測が行われる専有走行では、トップから2秒落ちの1分41秒526と、不本意な27番手に留まり、予選を控えて一抹の不安を残すことに……。その予選は土曜日の11時45分から、15分間の計測で行われた。秋晴れのSUGOは若干の肌寒さはあるものの、アタックには絶好のコンディションだ。今回も決勝でのタイヤ負担を考慮し、アタックは1周のみ。コースオープンと同時に、平木選手は「茨城トヨペット86レーシング」とともにピットを離れていく。

アウトラップだけでタイヤとブレーキを温め、コンディションとマシンの状態をチェック。短い時間に要求されるミッションをそつなくこなした後、いよいよアタックを開始する。レースウィークの自己ベストを更新する1分40秒603をマークして、ピットに戻ってきた時点で、平木選手は16番手につけることとなる。だが、今回は終盤にアタックを行なった選手が予想以上に多く……。

その結果、「茨城トヨペット 86 レーシング」をドライブする平木選手は27番手、14列目から決勝レースに挑むこととなった。

「練習で出ていた足回りのトラブルは、考えられるところはすべて手を施して予選に挑み、症状自体はだいぶ改善されましたが、まだ十分ではなくて。そういう状況の中、行くしかなかったんですが、微妙な結果に終わってしまいました。マシンのバランスも完全ではなかったのも、ぶっつけ本番的な感じで、それでもうまくまとめようと思っていたんですが……。満足のいく予選ではありませんでしたが、決勝ではできるだけ順位を上げて帰ってきたい、と思っています」と平木選手。



決勝レースは日曜日のお昼から、当初の予定より若干遅れてスタート進行が開始された。第8戦は13周での争いだ。この日もコンディションに恵まれ、陽気の良さと86/BRZ関連のイベントも併せて行われていた影響もあり、グリッドには多くの関係者が詰め寄っていた。

さて「茨城トヨペット 86 レーシング」が並ぶ14列目グリッドは、SUGOの特徴でもある、最終コーナーから続く登り勾配の途中にある。そのため、平木選手はレースのスタートでは、初めての坂道発進を経験することとなった。そのスタートは、実は「シグナルが見えず、まわりが動いたから自分も動くという感じで」と平木選手。そのため1台に抜かれてしまうも、オープニングラップのうちに自身も1台を抜いて、結果的にはポジションをキープ。序盤は集団の中で走って二度ほどS字での接触があったものの、マシンにはダメージはなし。3周目にはふたつ順位を上げ、次の周にもうひとつ順位を上げて24番手に浮上する。中盤に入ると、いったんは前も後ろも離れた状態に。そのタイミングで自己ベストとなる、1分42秒236をマークする。

しかし、終盤に差し掛かると、前に行く集団のバトルが激しくなったことから、そこに追いついて混乱にも乗じて8周目には23番手にも浮上。また、この頃のラップタイムは1分43秒台の前半で安定して刻まれていった。結局、それ以上のポジションアップこそ果たせなかったものの、4ポジションアップに成功して、しっかりと平木選手はチェッカーを受けた。

さて、次回のレースは10月21～22日、3週間後に鈴鹿サーキットで行われる。残りレースは少なくなってきた。平木選手の確実な成長ぶりを期待したい。



## 平木湧也選手のコメント



「スタート直後の混乱はうまく抜けてこられたので、序盤はタイヤをセーブしながら、ブレーキもいたわりながら、チャンスを待つことにしました。前が詰まっているので、そこで頑張ってもしょうがないので、最後にペースを上げていこうと。そう心がけていたから順位をうまく上げることもできたのですが、終盤は思った以上に渋滞していて…。追いつきはしたんですが、どうしてもタイミングが合わなくて渋滞になって、また離れちゃうの繰り返しで。締めがうまく決まりませんでした。ツーリングカーでは初めて走るサーキットですから、しっかりと走り込みたかったんですが、初日からトラブルが起きてしまって。メカニックさんはいろいろ原因を探ってくれて、なんとかいい方向には行ったんですが、完全解決には至りませんでした。そういった状況の中で、ひとつでも上の順位でゴールしようと、僕自身も目いっぱい行ったので、その点は良かったと思います。次のレースまでにしっかりプログラムを考えて、挑みたいと思います」

## チーム監督のコメント ～石川 一郎 (FUN TO DRIVE 推進グループ)～



GR86/BRZ Race 第8戦 スポーツランドSUGOの結果は、予選:27位、決勝:23位  
ご支援、ご声援いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。第8戦 SUGOは、初日から足回りのトラブルに見舞われ、完全に癒えぬまま予選・決勝に挑む事になったことが悔やまれます。しかし、最後までベストなセットを探り続け、メカニックの懸命な修復作業により、このレースウィークではいちばんの状態での決勝レースに臨むことができました。今大会期間中、初日からトラブルに見舞われましたが、チームスタッフ全員で協力し、終始良い雰囲気の中、レースを楽しみながらベストを尽くしました。次回は、10月21～22日に鈴鹿サーキットで第9戦が開催されます。平木選手にとって得意とするサーキットのひとつだけに、今季ベストリザルトを残せるよう頑張ります。今後ともご声援、よろしく願いいたします。

## チーフメカニックのコメント ～高橋 雄大 (つくば西大橋店)～



今回レースに帯同させて頂き、車両メンテをしていく上で改めて、ドライバーの意図する車作りの難しさを痛感しました。レースでしか起き得ない速度域による車の挙動変化、制動力…ドライバーが必死に伝えようとしてくれる、それをいかに広い視野と知識、想像力でメンテに活かせるかが大切な事。まだまだ非力ではありますが数回に渡り帯同させて頂く全てが勉強になります。笑いあり涙あり、時には厳しい現実もある、この喜怒哀楽の詰まったレース業界に少しでも携われる喜びや楽しさを会社全体で共有したいと感じています。茨城トヨペットレーシングチームの未来を見据えた活躍を一社員として応援しています。ありがとうございました。

## メカニックのコメント ～川原場 英春 (石岡東大橋店)～



この度、レースに初参加させて頂きましてありがとうございます。応援して頂いた皆様、店舗スタッフの方々、関係者の皆様に感謝申し上げます。今回GR86/BRZ Raceにメカニックとして参加し、レースの知識・技術はもとより、チームワークがいかに重要か、ドライバーの感じた事を如何に車両に反映させるか、この事が普段の仕事に精通しているか良くわかりました。レースウィークを通じ、改めてモータースポーツの楽しさを体感することができました。また機会がありましたら参加したいと思います。

## メカニックのコメント ～倉持 秀成 (守谷松波店)～



まずは今回のレースにメカニックとして参加するにあたり多くの皆様にご協力、ご尽力いただき本当に感謝しております。月末の多忙な時期に送り出してくれた店舗のスタッフ、レースメカニックとしては全くのヒヨッコである自分に色々教えて下さったチームのメンバー、快く送り出してくれた家族、本当にありがとうございました。普段の仕事では感じる事が出来ない車の難しさと楽しさを感じることができたレースになりました。この貴重な経験をより多くのスタッフに伝え、メカニックのモチベーションの底上げになればと思います。正直今回、満足のいく仕事が出来なかったと感じています。もしもまた参加できるならば是非リベンジさせてください。よろしくお願いいたします。

GR86/BRZ Race

Racing Development  
TRD

GOODYEAR

PMU

BILLION  
OILS

BRIDE